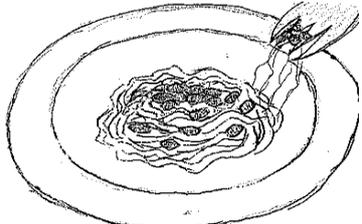
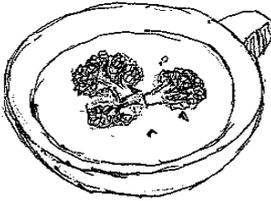
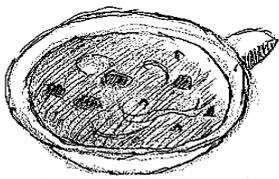
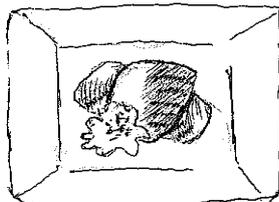
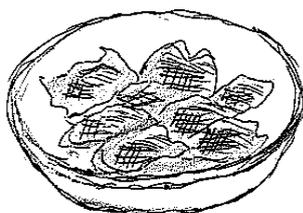


楽らく通信



 <p>小松菜のオイル蒸し</p>	 <p>納豆スパゲッティ</p>	 <p>サバ缶うどん</p>
 <p>もやしとにんじんのポン酢和え</p>	 <p>ブロッコリースープ</p>	 <p>サバトマトスープ</p>
 <p>サバのマヨネーズ風</p>	 <p>にんにく醤油炒め</p>	<p>これらは R-1 グランプリ応募作です。 (らく福祉会のRとレシピのR をかけています) 初代グランプリは一体どのレシ ピに？結果発表は5Pへ♪</p>

【目次】

- | | | | |
|---|---------------------|------|-----------------|
| 1 | ✧ 表紙 ✧ | 5 | 新連載！「R-1 グランプリ」 |
| 2 | 理事長挨拶／スペース楽・2 活動報告 | 6~10 | 歴史を訪ねて (6・最終回) |
| 3 | スペース楽活動報告 | 11 | 年度活動報告／新入職員紹介 |
| 4 | GH 活動報告／相談支援事業所活動報告 | 12 | ご支援ご協力／編集後記 |



【発行】

●スペース楽 小金井市東町 4-10-14 TEL : 042-388-6456 FAX : 042-316-3664

E-MAIL : space-raku@mx4.alpha-web.ne.jp

●スペース楽・2 小金井市本町 1-6-11 TEL/FAX : 042-388-7887 E-MAIL : 1997raku2@jcom.zaq.ne.jp

●グループホームこがねい・ちぐら TEL/FAX : 042-387-8468

●グループホームらく TEL/FAX : 042-383-6181

●らく福祉会 公式ホームページ <http://rakufukushikai8.wixsite.com/koganeishi>



福祉会

新型コロナウイルス（COVID-19）は、私たちの生活を一変させました。街中から人が極端に減り、TVでは明るいニュースがめっきり少なくなりました。皆さんの生活にも大きな影響が出ていらっしゃるのではないかと推察します。

「らく福祉会」の運営する各事業所でも、この状況に対し種々の対応に日々、取り組んでいます。

ただし、この取り組みにおいて「利用者と職員の健康（命）を守る」ということを根本に据えなければ何も始まりません。この大前提の下、各事業所で各々の取り組みを行っていると同時に変化する状況の中、柔軟な対応を行っています。

残念ながら通所事業所では従前通りの通所や活動内容を実施することができず、利用者の方々にはご不安を与えてしまう結果となってしまっています。

この原稿を書いている時点においてはまだ今後の見通しも立たない状況の中、施設経営面でも厳しい状況になってきていることも紛れもない事実ですが、平穏が訪れるその日まで、この状況に立ち向かっていくことが我々に課せられた使命と考えます。

皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

※各所の開所状況等、最新の情報はホームページでご確認いただけます。



《スペース楽・2 活動報告》

～「共にある」ということ～

楽・2では、メンバーさんとお話をする機会がたくさんあります。手芸などの作業中は集中して静かなときも多いですが、休憩時間、作業終了後には決まっておしゃべり。施設長より「話するのが仕事」と言われたこともあって、最近はより積極的に話しかけるよう努めています。

先日はそれまで距離のあった方と、初めてたくさん話す機会があり、テレビ番組のこと、出身地のこと、音楽のこと…いろいろなことを知りました。時折見せてくださる笑顔が素敵なことも。こちらが心を開けば向こうも開いてくださるのですね。

見習いたいと思うようなやり取りも。完成した織りを「きれいですね」と褒めると、織り主さんは「ありがとう、そう言ってもらえるとうれしい」とおっしゃる。素直な受け止め方に清々しい気持ちになるとともに、人から褒められると恥ずかしくなってしまってすぐに否定しがちな自分を省みるのです。

また、こんなこともありました。ある方が帰り際に「最後にもう一つ」と胸の内を話していただき、「いつでも、何でも話してくださいね」とお声がけすると、「ありがとうございます、うれしいです」とおっしゃり深々と頭を下げられたのです。お話を聞くしかできなくても、「共にある」だけで意味があるのかと思うと胸が熱くなった出来事でした。

コロナ禍のなか落ち着かない日々が続きますが、ご自身の体調を考慮しつつ無理のない形でご利用いただき、「共にある」ことができますようにと願います。
(スペース楽・2/江本)



《スペース楽活動報告》

ありがとう



昨年末から世界に広がった新型コロナウイルスはスペース楽の活動にも大きな影響をもたらしました。市民活動まつり販売や年度末の恒例の合同花見、りんくわいわいパーティーなど予定していたイベントや行事は3月からすべて中止となりました。年度初めの契約もできていない作業もあります。

未だ見通しのつかない今年度ですが、昨年度も振り返りますと、いろいろなことがありました。

昨年度は㈱MNHさんから2017年8月よりいただいていた「ゾンビ茶漬け」のアッセンブルのお仕事が商品終売につき2019年10月に終了しました。この内職作業を楽しみにしている利用者さんがとても多かったため、このお仕事がなくなりとても残念に思っています。2年2ヶ月間お世話になりました。

しかし、製菓作業では新しいお仕事がありました。6月よりコガネイチーズケーキさんとのコラボで作った米粉クッキー2種が立川ルミネの同店店頭に並びました。さらに、リニューアルオープンしたJ A東京むさし小金井ファーマーズ・マーケットにはスペース楽のオリジナルクッキー・ケーキを置かせていただくことになり、念願の武蔵小金井方面でご購入をしていただく店舗ができました。11月には小金井市立東小学校の60周年記念行事に紅白の米粉クッキーを特別に製造、武蔵野東中学校の文化祭にはスペース楽の販売でも揃えたことのない7種のパウンドケーキを一度に納品させていただきました。

このようにスペース楽のクッキー・ケーキ作りがまた少しずつ展開していった年でもありました。

年度の最後の楽しみは2月18日の川越日帰り旅行でした。昨年まで旅行でお世話になった小金井市協のみどり号が廃止になり、15年ぶりに民間の旅行会社にお世話になっての旅でした。クッキー作りの参考にとグリコピアの工場見学も行程に入れてもらいました。オートメーション化された工場ではスペース楽のクッキー作りの参考にはならなかったですが、グリコのお菓子作りの精神はスペース楽のみんなの意識を変えたことでしょう。それから川越ですき焼き弁当を食べ、風情溢れる街を散策するなど外出自粛期間の前に良い思い出ができました。

そんなスペース楽は現在、室内での密を避けながら通所と在宅での作業に分かれて開所を継続しています。開所にあたりリスクを回避するため、食事はとらず利用者は原則半日の利用、検温と体調確認の徹底等多くの制約もありますが、利用者さんは変化に対応して過ごしています。品薄で入手困難になったマスク、アルコール、トイレトペーパーも作業に欠かせない相棒のためいつも備蓄していたので、無事に対応できました。とはいえ、徐々に在庫が減ってきてはいます。一体いつまでこの状況が続くのでしょうか。早く新型コロナが終息してほしいです。

ちなみに昨年度から始まった小金井市東図書館の壁面装飾では、3月～5月までをスペース楽が担当しました。「今、子供達に人気があるもの」「夢の世界」をテーマに『虹とユニコーン』といった題材の作品を制作しました。制作に携わった利用者さんは、「イメージしたものを形にすることの難しさがあつた。何度も話し合いを重ね、細かい作業を繰り返し、やっと出来上がった時はとても嬉しく達成感を感じた」と語っていました。あいにくの新型コロナによる図書館休館のため、この間、鑑賞することができませんでした。こちらのQRコードから特別に見ることができます。



『虹とユニコーン』

*今は図書館も再開し、展示期間も延長することになりました。ぜひ小金井東図書館にもお立ち寄りいただけると嬉しいです。

(スペース楽/山根)

《グループホーム活動報告》



それぞれの夕食会

らく福祉会で運営している4つのグループホーム（以下GH）では週に1回、普段顔を会わせることが少ないメンバー同士の親睦を深めることを目的に、各々の交流室で「夕食会」を行っています。他のメンバーとお話しされる方、静かに食事を楽しむ方、それぞれに時間を過ごされています。食事のメニューは、メンバーのアレルギーの有無やリクエストを考慮しています。また、普段の食事で摂りづらいと思われる野菜が多めのメニューもあります。栄養面に気を配りながら職員が調理しています。

月1～2回は、全GHのメンバーと参加を希望されるOB・OG、職員が一堂に会し「合同夕食会」を行っています。メンバーがより大勢の中で食事をし、ミーティングなどの時間を過ごすこと。そして何よりも他のGHのメンバーや世話人とも交流し顔見知りになることを目的にしています。会場としてお借りしている集会所では調理が出来ないため宅配弁当やお寿司など予約注文。それを楽しみにしているメンバーも多いようです。合同夕食会では、食事の前に毎回テーマを決め10～15分程度「ミーティング」を行います。ミーティングが苦手だったり、人と食事をするのが苦手な方もいらっしゃるようですが、体調や精神的に辛い時を除いて、全員参加されています。

4月5月は、緊急事態宣言や、3密を避けるよう合同夕食会や夕食会は中止。各居室へ宅配弁当を届け、各居室で食べています。新型コロナウイルス対策のためマスク、検温、手洗い、うがい、症状のチェックを毎日実施。感染防止のため距離を保つ、不要不急の外出を避けるなどの注意喚起をしています。今後も緊急事態宣言の状況を踏まえて、グループホームの夕食会やその他対応につきましては、皆で引き続き考えて行こうと思います。（グループホームらく／福吉・伊東）

《相談支援事業所活動報告》

2020年1月より、らく福祉会相談支援事業所が開所致しました。「事業所」と言いましても職員は1人しかおりません。ですので、分からない事や困ったことがあると市役所の担当の方や他の事業所の方々に訊きまくりながら、何とか5か月を無事に過ごしてまいりました（関係者の皆様、本当にお世話になっております。ありがとうございます）。

今の所、計画相談のみをお受けしているのですが、たった5か月の計画相談でもその内容は多岐に渡り、自分の引き出しの少なさやひとりで出来る事の限界を痛感します。同じ業界で何年やっても、いくつになっても勉強って必要なのですね……。まだまだだなあと感じますし、すぐそばに相談できる仲間がいたことにどれだけ助けられていたかを実感しております。今後も関係者の皆様のお力をお借りしながら、より良い支援が出来る様、前向きに取り組んで参ります。どうぞ宜しくお願い致します。（らく福祉会相談支援事業所／秋山）





新連載！《第1回 R-1グランプリ》

* R-1グランプリとはピン芸人のグランプリでも、R-1ヨーグルトでもありません

(らく福祉会の「R」とレシピの「R」から、名づけました)

「みなさんのおすすめレシピを紹介してください」

一人暮らしの食生活をより充実させるために、料理が苦手な方でも、簡単に作れて、かつできるだけ安く、かつ美味しいレシピをらく福祉会の中で募集をかけました。

さて、栄えある第1回R-1グランプリに輝くのは誰でしょうか??

選ばれたレシピはどちらも
包丁いらずで洗い物少ない！
魚のDHA、オメガ3を
しっかり摂れるメニューです！

グランプリ

「サバ缶うどん」

ペンネーム

料理大好きりんださん



＜用意するもの＞ ・サバの水煮缶×1
・冷凍うどん×1玉
・めんつゆ
・(あれば) かいわれ、プチトマト

＜作り方＞

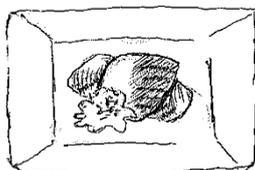
- ①冷凍うどんはレンジでチンして皿に盛る。
- ②サバ缶は身と汁を分け、身をうどんの上に盛る。
- ③汁はお椀に入れお湯を入れる(好みで味噌を入れる)
- ④うどんにちぎったかいわれとプチトマトを盛り、めんつゆを少しかけ、完成!

* あれば、かいわれとプチトマト。それも面倒なら、カット野菜でOK。

準グランプリ

「サバのマヨネーズ風」

ペンネーム 白木さん



＜用意するもの＞ ・サバの水煮缶×1
・しょうゆ×小さじ1
・マヨネーズ×大さじ1
・七味唐辛子(お好みで)

＜作り方＞

- ①サバの水煮缶にしょうゆを小さじ1入れて、マヨネーズ(大さじ1)、七味唐辛子を少しかける。完成!

「みなさまのオススメレシピを知りたい」そんな思いから、R-1グランプリを開催してみました。応募がまだ多数とはいきませんでした。ここで紹介したレシピが、みなさまの食生活の参考になればと思います。

今回のグランプリ、準グランプリはなんと偶然にもサバ缶を使ったメニューでした。

日本にサバ缶ブームが来て、あれから様々なサバ缶が登場しましたが、らく福祉会にもサバ缶ブーム到来か? とてもリーズナブルですし、これを機にサバ缶を活用するのはいかがでしょうか?
(楽しく通信編集委員)

2020年2回目の東京オリンピックは延期となり、新型コロナウイルスで大変な年となりましたが、今年スペース楽開所から25年、小金井で最初の精神の作業所あん工房はすでに30年を越えました。今回は私的なことですがスペース楽開所までのことを書いて最終回とします。

- 1990年 つどいの会 -



今から30年前、宇都宮病院事件から6年、精神衛生法から精神保健法へ変わってから3年の1990年11月、小金井公会堂で第1回心の健康講座「現代社会とストレス」という講演会が開かれた。講師は都立中部精神保健センター所長菱山珠夫先生、つどいの会とあん工房の共催で小金井市教育委員会が後援している。当日は天気も良く思いのほか多くの方が集まって下さった。

企画し準備をしたのは、つどいの会の発起人富澤とあん工房初代所長の生田さん。二人は国分寺のはらからの家の宿直ボランティアやさつき作業所の廃油石鹸作りのボランティアで知り合い、同じ小金井ということで富澤があん工房のボランティアもするようになっていた。当時、富澤は三鷹にある長谷川病院で看護の仕事をしており、今も毎年小金井のくじら山で開かれるはらっぱ祭りの第1回目の手伝いもしていた。

今から45年位前に野川に蓋をして暗渠にする計画があつて、小金井にあつた三多摩問題研究会というところが反対運動をしていた。まだ富澤が大学に行っていたころで同じ大学の自然保護同好会の先輩が参加していた。富澤は宇井純さん主催の自主講座「公害原論」で公害輸出反対のグループに参加していた。ボランティアで府中療育センターの岩楯恵美子さんの就学運動の集まりに行ったり、国立にあつた知的障害者施設「富士学園」の自主運営の手伝をしたりもしていた。

小金井では以前から市民活動が盛んで「市民の祭りと文化を考える会」という会もあつた。この会は、「小金井市民新聞」を発行していた教員の野口さんや詩人の長谷川修児さん、キリン堂書店の清水さん、共同保育所回帰船の大久保さん、共同保育所どろんこの星建男さんなどが参加していた。みんなで小金井公会堂でコンサートを企画したり、公民館で儀間比呂志さんの沖縄戦の版画展をやったりもした。富澤もそこに参加していた。「いのちと暮らしを考える会」という会も自分で主催していて江守純史さん、生活クラブの池田敦子さんや鰐部さんなどと除草剤散布マップも作ったりして市に働きかけ市報のページの真ん中で余白の部分に注意喚起の文を載せてもらったりしていた。後に井上令子さんも参加してくれた。西荻窪のほびと村でやっていた発見の会の瓜生良介さんの操体法の講座にも参加していた。星さん達とは婦人運動の伊藤智恵子さんが代表だった日本と韓国の問題を考える会や一人暮らしの脳性麻痺の方の生活支援のボランティア、食事や入浴介助、ご本人の希望で車イスで銭湯へ行ったり寿司屋や居酒屋へ行ったりもした。共同保育所のボランティアもしたりといろいろとやっていた。長谷川病院を紹介してくれたのも国立の棕櫚亭の天野さんと知り合いだった日本と韓国の問題を考える会の山下さんだった。富澤は1985年に病院で看護助手として働くようになり、トイレ掃除、食事介助やオムツ交換、夜勤があつたりと1年後からは渋谷区医師会の看護学校へも通っていたので、市民活動の皆さんとはだんだんと疎遠になっていった。

さて、はらっぱ祭りであるが、1 回目の前年 1985 年頃だと思うが、共同保育所回帰船の早さんが中心となり富澤も参加して国分寺の本多人幡神社で関西のブルースシンガー光玄のライブを行った、これがはらっぱ祭りへも繋がっていった。はらっぱ祭りでは国分寺の人達が積極的に参加していて、そこに、精神障害者の共同作業所さつき作業所や精神や知的障害者の宿泊施設はらからの家の職員もいてボランティアの話を聞き、はらからの家に繋がり、あん工房の生田さんとも繋がっていった。

働いていた長谷川病院では 1970 年『ルポ精神病棟』に取り上げられた後、改革が進み粕田孝行看護課長を中心に聖路加看護大学の南裕子先生ともつながり、アメリカからアンダーウッド先生（オレム・アンダーウッドモデル - セルフケア理論）を招いたりして看護技術の向上を図っていた。1987 年精神保健法への転換を機に新しい病棟も建て、日本で初めての精神科専門看護師（CNS）の研修で聖路加看護大学から萱間真美（現同大教授）さんも来ていた。富澤も急性期病棟から社会復帰病棟の勤務へと移り、リハビリでは遊佐先生による SST も始まっていた。精神衛生法から精神保健法へと変わった当時であり、病院では社会復帰への期待も高まっていた。しかし、復帰すべき地域にはその受け皿が圧倒的に不足しており、住民の理解を得る機会も不足していた。

小金井ではまだ作業所がなく、小金井の人は国分寺のさつき作業所に通い、小金井市から国分寺市へいくらか補助を出していた。この頃はみんなよく喫茶店に集まりおしゃべりをしたり、一人でお茶をしたりしていた。当時の小金井保健所は小金井と国分寺を管轄しており、国分寺のはらからの家の伊澤雄一さんや小金井の浦和完次さん（家族会二代目会長）らが運営委員となって小金井で最初の精神の作業所、あん工房を設立する。あん工房にアパートの部屋を貸してくれた大家さんは浦和さんの知り合いだった。初代の所長の生田さんはたしか養護学校の教員をしていた方で、作業所では内職作業や陶芸やレクなどのプログラムがあった。中学時代の同級生があん工房に通っていた関係で小金井市職員の渋谷祐宣さんもボランティアに来ていた。当時、渋谷さんが公会堂の仕事をしていた関係でメンバーさん何人かで掃除をしたりもしていたようだ。

そんな関係で富澤が言いだしっぺになって、小金井での受け皿づくりと精神障害への理解の促進ということで講演会が企画された。講師の菱山先生は小金井市内の方ではらからの家の伊澤さんの紹介だった。先生に手紙を送り中部精神保健センターへお話を伺うと快く引き受けて下さった。1990 年 11 月 11 日の講演は多くの方が参加してくださり、とても分かりやすく好評で、この講演は後に富澤が以前働いていた編集プロダクションの関係で、ぱる出版から『現代社会とストレス』という冊子になりスペース楽設立資金カンパに活用された。

さて、第 1 回心の健康講座で関心のある方は「会」を作りましょうと呼びかけ、11 月 30 日に小金井市公民館の生活室で第 1 回つどいの会が開かれた。当日はあいにく天気が悪く、会場の窓から外を見ると雨風ともに強かったので誰も来ないのではと思われたが、小金井病院の外来患者さんら 4 名（西さんとその友人）と一般市民 4 名（元教師の方と渋谷さんと私とあと 1 名）との 8 名の参加があった。そこで、講演会の感想など話しながら、名称は当時出版されていた『ギールの街の人々』（現在はゲールと言われている）という本からギールの会という意見も出たが、当面はつどいの会とすること、毎月 1 回土曜か日曜の夕方、公民館等で開催すること、精神病や精神障害に関心がある人なら誰でも参加できること、この会はカンパで運営し続かなくなったら止めることが決まった。

つどいの会では毎月会場でカンパ箱を置いて次回のお知らせ代やお茶やお菓子代にしていた。会のお知らせは半年位はハガキで富澤が作って発送し、その後みんなでニュースレターを作成し公民館で印刷

して発行するようになる。会場も市民の集まりなのだからと公民館の生活室や上ノ原会館の和室を予約し、後に調理室も利用する関係でもっぱら上ノ原会館を使うようになり、管理人の人達とも顔見知りになる。毎回集まって話したい人は話し、横になりたい人は横になり、TVで野球を見て過ごすこともあった。西さんが当時、結成されて1年位の東京都精神障害者団体連合会の役員をしていた関係で大田区や墨田区、川崎市などかなり遠くからも参加者があった。小金井市内からも当事者の参加が多くなり、「一ヶ所自分の行ける場所が増えてうれしい」ということも言われた。

正月には餅を焼いたり、夏にはそうめんを作ったり、冬にはすき焼きをしたり、鍋をしたりと皆で食事をする事もあった。いつでも「自分のできることは自分でしてね」ということで、会費もそのつど皆で集めてやっていた。「誰かにやってもらうのではなく、出来ることは自分でやる、それが好い」ということも言われた。会の後に居酒屋に行ったこともあった。誰かのアパートで食事会をしたこともあった。退院したけどポストには誰からも手紙が来ないと言っていた人からは、「つどいのお知らせが来てうれしかった」と言われた。春には小金井公園で花見をした。渋谷さんが車を借りて何人かで日帰り藤野の温泉へ行ったりもした。三鷹市のむうぷ舎の職員の人も参加したりして、国立では「レッツ」という会もできたり、八王子でも集まりが出来た。上ノ原会館で当事者の意見発表会も開催し、市内にお知らせし、関心のある市民の方たちの前で4人の当事者がそれぞれ自分の経験を話すこともやった。

つどいの会の足しになるようにと渋谷さんの関係で小金井の平和盆踊りで子ども相手にソースせんべいを売ったり、当時はらからの家でやっていた手工芸品づくりを教えもらい富澤のアパートに集まって作って売ってみたりといろいろやっていた。小金井のアースデイにも参加した。

当時の小金井保健所の岩城弘子所長も保健師さんとつどいの会に来てくれた。菱山先生も差し入れにサントリーのだるまを持ってつどいの会に参加してくれた。この時はさすがに会場で飲むわけにもいかず、とりあえず私が預かって持って帰ったと思うが、その後のことは記憶にない。

この街が、誰にでも優しい街でありますように

講師 現代社会とストレス (都立中部総合精神保健センター所長) 菱山珠夫先生

心の健康講座

後援 小金井市教育委員会

日時 7月7日(日) PM 6:30 ~ 8:30

会場 小金井公会堂 会議室

参加費 300円 Tel 0923-83-1134

つどい (に) 参加しませんか
心の健康講座、夏まつりに月1回程度の集まりをもちたいと思っております。随分心のある方をお待ちしております。

主催 小金井市 1-1-34 錦光ビル7号
富沢 Tel 0923-85-6887
小金井市根野の2-14-5 あんじ屋 Tel 0922-51-3238

1977年12月3日第三種郵便物認可(毎月18日1・2・3・5・6・7日発行) 1995年3月10日発行 SSKP 増刊通巻 第1819号

「スペース楽」 飯開所

心を癒す人の共同作業所

「スペース楽」は、心を癒す人の共同作業所として、1981年(昭和56年)に設立されました。当時は、精神障害者の社会参加の場として、主に作業療法士と当事者が中心となり、様々な活動を行ってまいりました。現在は、精神障害者の社会参加の場として、主に作業療法士と当事者が中心となり、様々な活動を行ってまいりました。

「スペース楽」は、心を癒す人の共同作業所として、1981年(昭和56年)に設立されました。当時は、精神障害者の社会参加の場として、主に作業療法士と当事者が中心となり、様々な活動を行ってまいりました。現在は、精神障害者の社会参加の場として、主に作業療法士と当事者が中心となり、様々な活動を行ってまいりました。

「スペース楽」は、心を癒す人の共同作業所として、1981年(昭和56年)に設立されました。当時は、精神障害者の社会参加の場として、主に作業療法士と当事者が中心となり、様々な活動を行ってまいりました。現在は、精神障害者の社会参加の場として、主に作業療法士と当事者が中心となり、様々な活動を行ってまいりました。

☆ 品会いの箱・やすらぎの箱 おしおい 大
おしゃべりなワークショップ KEMと地域を結びます 主要障害者
一週に一度、食べおしゃべり会です。 月曜日
中・大・小の3つのグループに分かれています。 月曜日
せんぽもーに3階の方足持です。 月曜日
毎週木曜日にやっています。 月曜日
次回は 月曜日
月 日(木) 10:00 - 15:00 中環通1
連絡先・会場=武蔵野市吉祥寺本町4-14-9 東栄教会 TEL 0422-20-0084

☆ 精神保健相談・習字相談
小金井駅前………習字相談(月1回) 3/4 13時~
日暮里駅前(2回) 3/4 13時~
日暮里駅前(2回) 3/4 13時~
日暮里駅前(2回) 3/4 13時~

☆ 小金井保健所 区会等連携
小金井市東町1-1-1 3-13-28
TEL 0423-52-1184

つどいの会のお知らせを作ったり雑誌の事務作業を一緒にやりませんか
4月22日(土)午後5~7時23.公民館3階 (0423-52-1184)でやりませう。
切手を貼ったり、封筒につめたりといった簡単な作業です。ヒマな人はぜひどうぞ。

「つどいへのお誘い」 身体障害者連合会 小金井支部 1-1-34 錦光ビル7号 富沢 氏
発行所 東京都武蔵野市吉祥寺本町4-14-9 東栄教会 電話 0422-20-0084

1991年9月には小金井保健所のバックアップで小金井市精神障害者家族会・あじさい会が発足している。初代会長は猪俣龍三さんである。学芸大学の大学院生も事務を手伝ってくれていた。

つどいの会では1992年10月19日に小金井市公民館に外口玉子先生をお招きして第2回心の健康講座「ストレス社会と人間関係」を開催、60名が参加。保健所の岩城所長からもメッセージをいただいた。

1993年には障害者基本法が制定され、精神障害者も障害者福祉の対象として法的に認められるようになる。この年には全国精神障害者団体連合会も結成されている。さらに8月に千葉県幕張メッセで「世界精神保健連盟1993年世界会議」が開催され、つどいの会にも参加していた西多喜男さんが当事者の講演者として登壇した。日本で初めての開催で62ヶ国5,000人の参加があったという。

同じ年つどいの会の呼び掛けで「ハートピア小金井かいわい実行委員会」を結成、小金井市教育委員会、社会福祉協議会、保健所の後援をいただき11月22日小金井市公民館視聴覚室で「シャンソンの夕べ」を開催、70名が参加。小金井新聞でも紹介していただいた。

つどいの会では富澤のアパートで手芸品作りをしたりするメンバーが4、5人いて、毎日使える場所があるといいねなど話していた。一緒にやっていた渋谷さんのお母さんが小金井市内の身体の作業所「あい」の職員をしていたこともあり、東京都の補助金で運営できることを聞き、渋谷さんと二人で市議会議員のところへ話を聞きに行ったりして作業所作りに向けて情報を集めていった。はらからの家の伊澤さんや高橋さん、三鷹のむうぶ舎の脇さんやプーの森の野村さん、立川の棕櫚亭の満窪さん、学芸大学の池末先生にも相談させていただき準備は進んでいった。

- 1995年 共同作業所 スペース楽 -

さて、障害者基本法の成立を受け1995年に精神保健法が精神保健福祉法となる前年の1994年6月に小金井保健所である会議が開かれた。富澤がつどいの会の活動で知り合った人たちに声をかけ、当時の小金井保健所の赤穂保所長にも相談に行き、小金井に二つ目の共同作業所を作るための準備会を立ち上げることになったのである。富澤は当時、病院の仕事を辞め、埼玉県川口市の中学校の警備員をやりながら全体の専門学校に通い、はらからの宿直やさつき作業所の石鹸作りを手伝いながらつどいの会をやっていた。保健所の赤穂所長は富澤を何者だろうと最初は警戒していたというが、三宅島で保健所長をしていた頃、都から菱山先生が精神の担当で島に時々やって来て親しくされていたり、三鷹市の保健所長をしているときに精神の作業所立ち上げに関わっていらしたりした経験もありだったので、いろいろと相談に乗ってくださり、積極的に支援して下さった。

1994年7月のつどいの会のニュースに設立準備会のことが載っている。それによると準備会のメンバーは代表・猪俣龍三、事務局長・富沢淳一、事務局・鯉淵優子、斉藤郁子、吉田礼子、準備委員・相原啓介(保健所デイケア)、池末亨(わかくさの家)、伊澤雄一(はらからの家)、石塚勝敏(小金井社協)、伊藤千谷子(あじさい会)、久保田憲子(小金井保健所)、桜井猛(小金井社協)、中林久江(つどいの会)、西沢有喜子(武蔵野中央病院)、山田康博(あん工房)、吉沢豊(桜町病院)、吉沢幸子(ボラセン)とある。準備会の「設立に向けてのお願い」には「私たちも応援しています」としてスタジオジブリも名前を出している。これは当時小金井でやっていたアースデイにジブリも協力してくれていて、その関係で富澤がお願いに行ったのだった。

2019年度 らく福祉会 各施設活動報告

4月	12.レク-昭和館(楽・2) 15.防災訓練(楽) 22.レク-大哺乳類展(楽)
5月	1.2.長期連休のため臨時開所(楽・楽・2) 17.レク-多摩動物園(楽・2)
6月	1 出張販売-黄金井名物市(楽) 12-14.作品展示会-カエルハウス(楽・2)
	21.レク-高幡不動(楽・2) 25.防災訓練(楽・2).顧問医面接(GH) 27.夜間避難訓練(GH)
7月	6.7 出張販売-東センターまつり(楽) 7 出張販売-作業療法学会市民公開イベント(楽)
	10. 入居等協議会(GH) 20 出張販売-こむぎ保育園なつまつり(楽)
	22~24.31 小金井社協「夏の体験ボランティア」(市内小中学生)受け入れ(楽・2)
8月	5.19.出張販売-日本福祉教育専門学校スクーリング (楽・楽・2)・27(楽)
	15.伝言ダイヤル(GH)納涼会-カフェローカル(楽) 16.GH日帰りレク
	22. 出張販売-イトヨーカ堂(楽、楽・2)
	8.9.21~23 小金井社協「夏の体験ボランティア」(市内小中学生)受け入れ(楽・2)・21.(楽)
9月	3.顧問医面接(GH) 9.レク-高畑勲展(楽) 12.レク-お台場(楽・2)
	17.入居等協議会(GH)
10月	10.レク-ボウリング(楽・2) 13.ヨハネ祭(中止) 16.夜間避難訓練(GH)
	19.20 市民まつり販売(楽・2) 30.入居等協議会(GH)
11月	3.出張販売ルーテル学院大愛祭(楽) 10.出張販売社会医学技術学院ふくろう祭(楽)
	22.レク-カラオケ(楽・2)
12月	3.東図書館飾りつけ(楽・2) 5.6.障害者週間市役所販売(楽)(楽・2)
	7.障害者週間宮地楽器ホールイベント販売(楽)
	11-13.作品展示会-カエルハウス(楽・2) 20.レク-カラオケ(楽・2)
	26.クリスマス・忘年・誕生日会(楽・2) 26.忘年会(楽)
1月	1.らく福祉会相談支援事業所開所 6.新年会(楽・2) 2.初詣(GH) 10.レク-映画(楽・2)
2月	7.顧問医面接(GH) 14.入居等協議会(GH) 18.レク-ボウリング(楽・2)
	18.日帰りバスレク川越(楽) 25.防災訓練(楽)
3月	3.東図書館飾り付け(楽) 14.市民活動まつり中止 18.顧問医面接(GH)
	25.入居等協議会(GH) 26.卒業生のお話を聞く会中止(GH) 27.合同花見中止
	29.りんくわいわいパーティ中止 * 新型コロナの影響で3月からのイベント・行事は中止

《新入職員紹介》

●江本さん(スペース楽・2)

本と音楽、パン・お菓子作りが大好きです。4年前から英会話を鋭意学習中。最近はランニングにはまっています。はたまた手芸もいいなと(楽・2で刺激を受け)…あらためて、針と糸ってすごい！長年、編集・校正の仕事をしてきました。本誌にも生かせる部分は生かしたく。まずは楽・2にて、針仕事と皆さんとのおしゃべりを通じてより良い場所づくりに努めたいです。新たな出会い、新たな仕事、まだ見ぬ自分との出会いも楽しみに。

●伊東さん(グループホームらく)

以前は別の福祉事業所でグループホームの世話人をしていました。以前働いていたグループホームとは特色が違うので、初心に戻り皆さんと暮らしのことを考えて行きたいと思えます。普段はネットサーフィンや映画を家で見る事が多いインドア派ですが、急に山や滝を見に行きたくなり出かけることがあります。どうぞよろしくお願いします。

●吉川さん(スペース楽・2)

私はスペース楽2が利用者みなさんにとって、楽しめたり、安心できたり、居心地が良かったり、ほっとできたり、来て良かったと思えるような、そんな「自分の居場所」のひとつにしてもらえたらいいなと思っています。利用者みなさんのため、らく福祉会のため、自己の成長のため、一生懸命頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。

ご支援ご協力

—2019年4月1日～2020年3月31日—

みなさまからご寄付ならびに様々なご協力を賜りました。ありがとうございました。

『寄付・寄贈・助成』 寄付金ならびに製作品、リサイクル品、ご招待など。(順不同・敬称略)

富永博通／増田園子／武蔵野中央病院／仲元敬子／ろばや／渡辺さか江／北条孝／浅賀福代／三吉博子／渡辺恵利夫／訪問看護ステーション風・土屋秀則／伊藤万里子／赤い羽根共同募金（川越日帰り旅行の補助として）木下財団（ダイニングセット2セット購入費用として） ほか匿名のみなさま

『らく福社会賛助会員』(順不同・敬称略)

西ノ内多恵／渡辺さか江／北条孝／末盛三枝子／藤川トシ子／森田史雄／鴨下和恵／宮本祐子／西山晃央／板倉真也／馬場利明／吉田猛／さいとう医院／カフェにじ

『スペシャルサンクス』(順不同・敬称略)

作業所製品の販売や事業委託等を通し、「利用者の仕事」にご協力頂いた皆様です。

土井昇吾商店／株式会社千代田商事／株式会社 MNH／株式会社風水プロジェクト（グルッペみたか）／カフェローカル／JA東京むさし小金井ファーマーズ・マーケット／高橋金一／マダムブロッコリー株式会社 SOMETHING NEW（コガネイチーズケーキ）／オフィスセブンス・ノート／NPO法人あん福社会／カエルハウス実行委員会／株式会社円グループ／地域の寄合所また明日／NPO 現代座／NPO法人市民の図書館・公民館こがねい 東センター／小金井市社会福祉協議会／聖ヨハネ会／聖ヨハネホーム／小金井市身体障害者福祉協会／日本福祉教育専門学校／東京神学大学／ルーテル学院大学／社会医学技術学院／こむぎ保育園／小金井市役所／イトーヨーカドー武蔵小金井店／ウエスト／小嶋工務店／石黒工務店／武蔵野中央病院／でみ café／ケアサポート湧／東京作業療法学会／東京小金井ライオンズクラブ／小金井東小学校周年行事実行委員会／武蔵野東中学校後援会／

～*。～

らく福社会賛助会員

らく福社会賛助会員のみなさまには、

温かいご支援ご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

今後とも、ご支援のほどよろしくお願い致します。

らく福社会賛助会員 年会費 一口 2,000 円

郵便振替 口座番号：00160-5-171403

加入者名：らく福社会

らく福社会 公式ホームページ



らく福社会

検索

日々、ブログや情報を更新しています。是非ご覧ください。



編集後記

- ・今号はスペース楽の歴史もあり、新連載もスタートし、充実の内容です。(T・Y)
- ・在宅勤務が続く針仕事が不安ですが、めげずに覚え直します！（校正はお任せあれ）(Y・E)
- ・新しい日常が戻ることを願っています。春号の通信発行ができたこと、皆様に感謝を。(H・F)
- ・初めて編集に携わりました。沢山の人が1つのものを作るのは大変ですね。(Y・I)

イラスト協力 ふくちゃん

